

大柴拓 guitar
坂井紅介 contrabass
岡部洋一 percussion

2020 03月22日(日)

開場 14:30
開演 15:00~

(2ステージ入替なし 途中入場可) (1drink=600円~)

MC 3500円+2drinks order

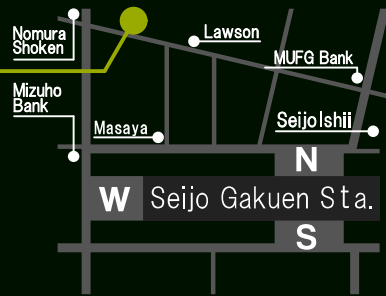
CAFE BEULMANS

03-3484-0047

info.cafebeulmans@gmail.com

東京都世田谷区成城6-16-5-2F

メールでのご予約の場合、
必ず当日ご連絡がとれる電話番号を
ご記載ください。



岡部洋一

1962年東京都出身。高校時代からパーカッションの演奏を始める。早稲田大学在学中にラテン音楽やロックのサークルに入りし、プロとしての活動を開始。歌謡曲のバックや、ブラジル音楽、ジャズなど幅広く演奏する。現在はトランスロックバンド「ROVO」や、プログレッシブジャズロックバンド「ボンデーフルーツ」、16人編成のブラスロックバンド「THE THRILL」のメンバー。2001年、ソロアルバム「SATIATION」をまぼろしの世界からリリース。2006年には、ソロライブアルバム「感覚の地平線」をリリース。主な共演アーティストは溝口肇、佐藤允彦、鈴木良雄、向井滋春、勝井祐二、鬼怒無月、芳垣安洋、小野りさ、Baden Powell、João Donato、ホッピー神山、ショーロ・クラブ、村田陽一、村松健、遠藤律子、中村善郎、福岡ユタカ、酒井俊、中島啓江、アキコ・グレース、木之下真市、菅野よう子、今堀恒雄、納浩一、柏木広樹、木住野佳子、中西敏博、朝崎郁恵、Saigenji、鈴木亜紀、リリアナ・エレロ、デビッド・サンボーン、等々。

大柴拓

ギタリスト、作曲家、グラフィックデザイナー。神奈川県立弥栄東高校音楽コースを経て、東京音楽大学を卒業。TrioMono、IROSEPTET、大柴拓カルテットの主宰をはじめ、他にも常に数多くの企画を抱え、極めて精力的に活動。2018年3月には大柴拓 Ensemble para furores を立ち上げ、演奏家に役者も加えた全11人の大編成で新作"音楽劇"の製作・初演を超満員にて成功させる。さらに2017年には自身初となるデザイン個展も開催するなど、音楽だけに留まらない現在最も活動的な若手アーティストの1人として注目されている。主宰CDとして、これまでに TrioMono 2枚、IROSEPTET 1枚をリリース。2018年5月に大柴拓カルテットの新作CD『Flowing out (STPT-004)』を発売。公式URL <http://www.taku-oshiba.com>

坂井紅介

ハンク・ジョーンズ、ジョー・ヘンダーソン、ヘレン・メリル、ミッシェル・ルグラン、エグベルト・ジスモンチ、スティーブ・ガッド、日野元彦、など世界のジャズ界をリードするミュージシャンと共演。幅広い音楽性で多くのアーティストに招かれ、国内外のユニットに参加。演奏の場は米国や欧州だけでなく、アジア、アフリカにも及ぶ。自己のグループで1993年より名古屋芸術創造センター、2000年にカザルスホールにおいてコンサート。作曲にも才を発揮し、映画、テレビ、舞踏、アーティストのCDに作編曲を提供するなど、活動範囲は広い。1997年5月、全曲オリジナルのリーダーアルバム「TRIPトリップ」をリリース。現在、自己のグループやソロベース活動の他、土岐英史、などのステージで活躍。横浜在住。